

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	柳井地域広域水道 企業団	会計名	柳井地域広域水道企業団 水道用水供給事業会計	団体担当者	
承認年度	平成22年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			当初計画最終年度目標値(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	目標値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 改善額	33.1	18.5	▲ 14.6	30.6	▲ 12.1	c
④ 公営企業債現在高	8840.0	8837.0	3.0	11523.0	2,686.0	a
⑤ 累積欠損金比率	208.0	8.5	199.5	231.5	223.0	a
				総合判定		c

3. その他

(i)計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成23年 3月 公表 (HP・広報紙・その他 【 】)
 執行状況:平成 年 月 公表 (HP・広報紙・その他 【 】)

(ii)計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成23年 2月 説明
執行状況:平成 年 月 説明

団体名	柳井地域広域水道企業団
会計名	域広域水道企業団水道用水供給事

④ 改善額

類型	C
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	改善額合計	補償金免除額
計画目標値(A)	6.5	6.6	6.6	6.7	6.7	33.1	30.6
実績(見込)値(B)	6.5	12.8	0.6	0.4	-1.8	18.5	
乖離値(C) (B－A)	0.0	6.2	-6.0	-6.3	-8.5	-14.6	-12.1
乖離率(D) (C／A)	0.0	0.9	-0.9	-0.9	-1.3	-0.4	-0.4

(ii) 要因分析

計画最終年度における未達成の要因	影響額(単位:百万円)						備考	やむを得ない事情
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計		
燃料費の変動による動力費の増加			5.0	6.7	6.7	18.4		25
再生可能エネルギー発電促進賦課金等の増加による動力費の増加			0.8	1.5	1.5	3.8		7
一般会計からの繰入金の減少			0.2		0.3	0.5		10
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
						0.0		
合計	-	-	6.0	8.2	8.5	22.7		
うち、やむを得ない事情	-	-	6.0	8.2	8.5	22.7		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

・動力費の増加については、燃料費高騰により、平均燃料価格が基準燃料価格を上回り、当初見込んでいた電気料金のマイナス調整額が見込まれなくなったため。また、太陽光発電の余剰電力買取制度(H21.11)及び再生可能エネルギーの固定価格買取制度(H24.7)の開始により、太陽光発電促進付加金(負担H23.4月分から)及び再生可能エネルギー発電促進賦課金(負担H24.7分から)が電気料金に付加され、電気料金の増加となったため。

・一般会計からの繰入金の減少については、地方公営企業繰出基準に基づく、地方公営企業職員に係る基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費に基づく繰入金が減額となったものである。これは、平成22年度公営企業健全化計画策定時、柳井市より2名の派遣職員(管理職)がおり、その予定で繰入金を算出していたが、平成23年度の柳井市の人事異動により派遣職員が1名となったことによるものである。

平成25年度においては、当初計画では想定していなかったが、地方公営企業繰出基準に基づいて、地方公営企業会計制度改正対応に要する経費として構成市町より繰入を行っており、このことから、上記の影響がでなかったものである。しかし、この繰入金は、今年度のためのため、平成26年度の減少は上記のとおり、基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費に基づく繰入金が減額となるものである。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

・一般会計からの繰入金については、基準額通りの繰入れをしていただけるよう、構成市町へ交渉します。

・各所とも、最適料金プランの選択、単価の低い夜間電力使用の徹底、デマンド値(契約電力)上昇防止に細心の注意を払うこと等で電力料金の節約に努めている。また、浄水場では、効率のよい浄水処理、事務所等のエアコン運転の見直し、省エネ設備への切替え、場内外の照明数の減等により、電力量の節減に努めている。今後も、この取組を継続し、電力料金及び電力量の節減を図る。

(v)改善方針の進捗状況

団体名	柳井地域広域水道企業団
会計名	広域水道企業団水道用水供給

⑤ 公営企業債現在高

類型	a
----	---

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画最終年度 (平成26年度)	当初計画 最終年度目標値
計画目標値(A)	12,477	11,526	10,581	9,689	8,840	11,523
実績(見込)値(B)	12,477	11,525	10,579	9,686	8,837	
乖離値(C) (A-B)	0	1	2	3	3	2,686
乖離率(D) (C/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.3%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
合計	-	-	-	-	-		
うち、やむを得ない事情	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

団体名	柳井地域広域水道企業団
会計名	広域水道企業団水道用水供給

⑥ 累積欠損金比率

類型	a
----	---

(ⅰ) 推移表

(単位: %)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画最終年度 (平成26年度)	当初計画 最終年度目標値
計画目標値(A)	221.1	231.5	203.9	206.3	208.0	231.5
実績(見込)値(B)	193.3	197.5	2.6	3.8	8.5	
乖離値(C) (A－B)	27.8	34.0	201.3	202.5	199.5	223.0
乖離率(D) (C/A)	12.6%	14.7%	98.7%	98.2%	95.9%	96.3%

(ⅱ) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成26年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない 事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない 事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成22年度					
平成23年度					
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
合計			-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--